

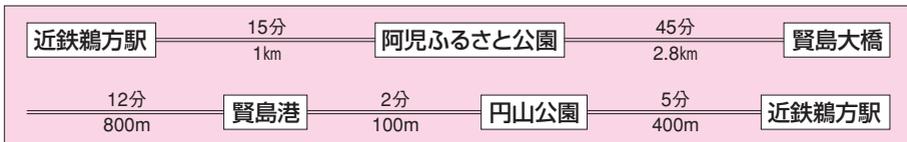
29 鵜方～賢島

鵜方から、英虞湾の海の玄関・賢島へ。
緑豊かな海沿いのリゾートに行く
特急ひと駅分の
のんびりウォーク。



阿児ふるさと公園。

コース ● 全行程…約5.1 km ● 所要時間…約1時間20分



高台の散歩道

鵜方から賢島までは近鉄特急でひと駅。直線距離でわずか3キロちょっとの道のりだ。賢島へは大阪、京都、名古屋から直通で乗り入れられる便利さだが、あつという間に橋を渡ってしまうため「島」という印象は薄い。軽装ならば、ひとつ手前の鵜方で電車を下り、歩いて賢島への橋を渡るのも一興だ。

鵜方駅の表玄関を出たら国道260号を東へ。線路を越え、NTTの前まで来たら、信号で国道を横断。前川を渡ると、県志摩庁舎(志摩市役所)がある。山を切り開いたこの辺りはちょっとした官庁街で、消防本部や自然保護官事務所、法務局などが集まっている。庁舎前の坂道を上った四差路を右折し、線路を跨いで左手の坂道を行くと、眺めのいい高台に阿児ふるさと公園がある。

周辺には「阿児アリーナ」と、「阿児ライブラリー」の施設が建ち、文化と憩いの広場で、散策には格好のコース。鯉の泳ぐ池畔には野鳥が遊び、初夏には藤棚が趣を添える。

真珠のふるさとへ

公園をひと巡りしてエントランスに出たら、目の前の道を右へ。信号交差点で国道167号を越えて行くと、緑豊かな別荘地に入る。瀟洒な保養所や別荘で目の保養をしながら、T字路を左折。賢島カンツリークラブのグリーンに沿って進む。二股に分かれる道を左にとり、賢島大橋を渡ると、いよいよ賢島だ。「かしこ」の語源は「かち越え」。干潮時には歩いて渡れるほど陸地に近いところから名付けられたという。大橋からは、リアスの入り江に浮かぶ真珠筏が一望できる。養殖真珠の父・御木本幸吉が多徳島に真珠養殖場を開いて以来、英虞湾は真珠のふるさとと呼ばれるようになって久しい。

大橋から賢島駅までは約500m。駅の北側にはマンボウの泳ぐ水族館・志摩マリランドがあり、線路を越えた南側には、定期船や遊覧船が発着する英虞湾の玄関・賢島港がある。高台の円山公園には、真珠貝の供養塔が建ち、毎年10月22日に行われる「真珠祭」の舞台となる。港に面した真珠店のウィンドウ・ショッピングも楽しい。



賢島大橋から眺める真珠のふるさと・英虞湾の夕景。



阿児ライブラリー。



英虞湾めぐり。



●問い合わせ/志摩市観光戦略室 ☎0599・44・0005